

地域の清掃活動

稲田中学校が環境保全功労者表彰〔6/22〕

稲田中学校で行われている「1・3運動」。同校生徒会が実践するこの取組みが県の評価を受け、6月22日、環境保全功労者として表彰されました。「1・3運動」とは、登下校時に1日1個、3日で3個のごみを拾い、1年間で1万個のごみ収集を達成しようというもの。学区内の清掃活動を行うとともに、生徒一人ひとりの環境美化意識を高めようと、14年前から続けられてきました。とりわけ、11月を同運動の強化月間と定め、クラス対抗で様々な収集アイデアを考えるなど、全校を挙げて取り組んでいます。



活動を盛り上げる生徒会役員と大嶋校長先生(後列左)

全日本学校環境緑化コンクールで佐城小学校が準特選〔6/24〕



表彰を受けた同校5年の吉野真由さん(左)と仲田優香さん

平成18年度全日本学校環境緑化コンクール「学校環境緑化の部」で、佐城小学校が準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞し、6月24日に北海道苫小牧市で行われた第58回全国植樹祭で表彰されました。同コンクール「学校環境緑化の部」は、緑化活動と教育効果に実績のある学校を評価する部門。佐城小学校では、児童主体の「緑の少年団」を結成し、森林での学習活動や学校・地域での花壇づくりなどの緑の活動(社会奉仕活動)に力を入れており、全校生徒173人による活動の成果が実を結びました。

宍戸小学校でオリンピック選手の水泳教室

〔6/27〕

6月27日、宍戸小学校にシドニーオリンピック水泳選手の萩原智子さんを迎え、5・6年生を対象とした「スポーツ選手ふれあい指導事業水泳教室」(文部科学省主催)を開催しました。約2時間のメニューは講話と実技指導。克己(自己制御)という言葉^{こつぎ}をキーワードにしたお話や丁寧な実技指導など、心身ともに貴重な体験をした児童たちは、終了後も熱心に水泳の練習に打ち込んでいました。



オリンピック選手・萩原智子さんによる水泳指導

古着をパキスタンへ〔5/30〕

市が毎年行っている古布の回収を5月30日に実施し、市民の皆さんのご協力によって4,547キログラムの古布が集まりました。回収した古布は、笠間市ボランティア連絡協議会笠間支所の協力で仕分けされ、パキスタンの子どもたちを支援する日本ファイバーリサイクル連帯協議会を通じて、2,397キログラムの古布を同国へ送ることができました。次の回収は10月下旬を予定しています。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。



笠間市ボランティア連絡協議会笠間支所の皆さんによる仕分け作業

日ごろの感謝を込めて七夕感謝祭〔7/7・8〕

7月7日と8日の二日間、笠間クラインガルテンで「七夕感謝祭」が開かれました。会場では、旬の野菜や果物、ジャムなどが通常よりも安く販売されたほか、スイカ割りや流しそうめんなどのイベントも行われ、初夏の休日を盛り上げました。



大人気の流しそうめん

生産者と消費者の交流 あたご梅まつり〔6/23〕



梅干し作りに挑戦する参加者

快晴の6月23日、あたご天狗の森スカイロジ前で、「第8回あたご梅まつり」が開かれました。この催しは、県内随一の栽培面積と収穫量を誇る笠間の梅のPRと消費拡大を目的に開催されたもので、市内外から約120人が参加しました。

参加者には一人5キログラムの梅の実が配られ、JA茨城中央梅部会や女性部の指導の下、梅干しや梅ジュース作りを体験。会場は、さわやかな梅の香りに包まれました。